

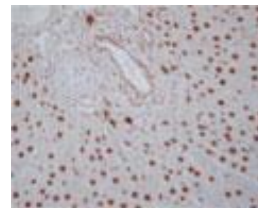
## Anti human RXR $\alpha$ mouse monoclonal antibody

RXR $\alpha$ : Retinoid X Receptor  $\alpha$

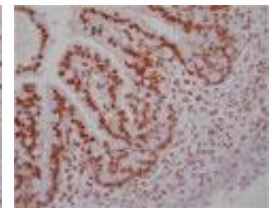
製品コード	PP-K8508-00 旧コード Z2K8508H
Clone No.	K8508
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100 $\mu$ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2B1
Genebank	X52773
由来	ヒトRXR $\alpha$ (2-133 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト RXR $\alpha$ と特異的に反応する。ヒトRXR $\beta$ , $\gamma$ には反応しない。マウスおよびラットRXR $\alpha$ と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水 (防腐剤として0.1% Na <sub>3</sub> 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 2 $\mu$ g/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.1 $\mu$ g/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	可 参考使用濃度 適宜調製してください
クロマチン免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
免疫染色	可 参考使用濃度 10-20 $\mu$ g/mL



ラット  
肝臓  
パラフィン切片



ラット  
腸  
パラフィン切片

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Jae Mi Suh, *et al.* Mol Endocrinol, Dec. 2006, 20(12): 3412-3420  
Jun Qin, *et al.* Developmental Dynamics, 2007, 236: 810-820

**備考** 溶媒に含まれるNa<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Apr 10, 2007